

平成 28 年度 横須賀市防災会議 開催結果

- ◆日 時 平成 29 年（2017 年）3 月 7 日（火）13:30～14:15
- ◆場 所 災害対策本部室
- ◆出席者 横須賀市防災会議委員（別添出席者名簿のとおり）
危機管理課：小貫課長、山本課長補佐、鈴木(宏)係長、黒瀧主任、川尻

◆概 要

1 開 会

吉田市長（防災会議会長）が開会の挨拶を行った。

2 議 題（地域防災計画（原子力災害対策計画編）の改訂について）

事務局から、地域防災計画（原子力災害対策計画編）の改訂について資料 1、2、3 に基づき、概要を説明し、委員の了解を得た。なお、各委員からの意見及び質疑応答については下記のとおりである。

<海上自衛隊横須賀地方総監部>

原子力災害への対応については、日頃から訓練を実施し実行性を高める事が重要。毎年 12 月には日米合同で訓練を実施しているので、引き続き訓練に参加していきたい。

<消防局>

消防局では、原子力災害対応についてマニュアルを作成している。この地域防災計画（原子力災害対策計画編）の改訂を受け、当該マニュアルも見直したい。

<浦賀警察署>

原子力災害への対応については、訓練等を繰り返し行う事が必要不可欠である。毎年、横須賀市と G N F - J が共同で行う訓練には今後も参加していきたい。

3 報告事項（平成 28 年度における活動報告）

事務局から、平成 28 年度における活動報告について資料 4 に基づき、概要を説明した。なお、報告について、各委員からの質疑及び発言は無かった。

4 その他

<教育委員会>

防災行政無線の現在の運用では、暴風警報発表時には防災行政無線で放送がされない。朝 6 時の段階で暴風警報が発表されている場合、学校はすべて休校になるが、授業中に暴風警報が発表されると、児童や地域の見守隊の方々が、下校時に危険にさらされる場合が想定されるため、今後防災行政無線による放送により、暴風警報が発表された旨を周知して欲しい。

<危機管理課>

暴風警報の発表を問わず、強風時は危険であると考えている。防災行政無線の運用方法については、いただいた意見を基に検討していきたい。

7 閉 会

吉田市長（防災会議会長）が閉会の挨拶を行った。